まざって長久手フェスタを開催しました

地域のみなさんが「みんなが知り合い、まざりあい、つながりあう楽しさ」を体感することを目的として、開催しました。

日時：令和４年６月１９日（日）　午後０時３０分から午後５時まで
会場：文化の家（森のホール、風のホール、展示室、情報ラウンジ等）
参加人数：約３００人

内容
講演：「なぜ混ざり合うといいのだろう？」
講師　菅野　拓氏（大阪公立大学大学院准教授）
シンポジウム：「コーディネートって何だろう？」
パネリスト　加藤 陽介さん（長久手市社会福祉協議会 CSW）
松本 まり子さん（うぃうぃの会）
林 信介さん（市が洞小学校区まちづくり協議会）
その他：SDGsカードゲーム、日用品楽器作成ワークショップ・コンサート、
出張子育てひろば ぽんぽん、地域の活動発表、交流会、マルシェ

参加者からの感想・意見

- 人と人が関わり合うことの重要性に改めて気づくことができました。
- 身近な活動を聞くことができて、繋がりの大切さを再確認できた。
- それぞれの活動がクロスするグループと横の繋がりを深められそうな気がしてきた。
- 私も何かできたらなぁという気持ちにさせられました。
- 子ども達が一生懸命参加している姿が良かった。
- 今後も長久手で活動している人の話を聞きたい。
- 講演会場から、もっと意見や質問がでるとよい。

講師とパネリストの方で、コーディネートの魅力等について、共有しました。

人や団体の交流の場となり、大にぎわいでした。

各ブースで世代を超えて、多くの人に参加いただきました。

団体交流会を開催し、パネルを用いて、活動団体のＰＲを行いました。